

# 第1回 とりもく 作品展

10月31日(土)～11月3日(火・祝)の4日間は、地元で活動する新進気鋭の木工家4人によるユニット「鳥取木工研究会「とりもく」」の初の展示会が開催されました。

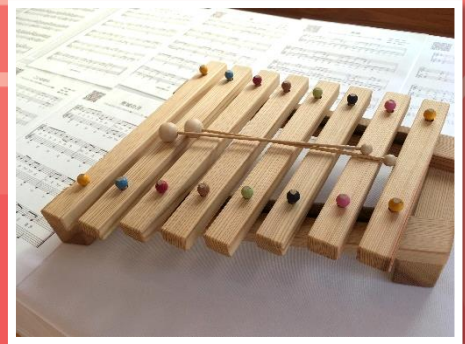
メンバーの一人、銘木工房やら木さんは、木製音楽雑貨のほか最近では県の林業試験場とともに商品開発した接客事業者向けの美しい仕切り板で注目を集めており、今会期中も飲食店をされている方が興味深そうにじっくり眺めておられる姿がありました。

曲げわっぱで有名な MOCKATS の草刈庄一さんは、この展示会のために考えたという、曲げわっぱにレーザー加工で伝統的な組子の文様や猫のデザインを施した新作を発表され、曲げわっぱ弁当に憧れる方たち(特に女性!?)からしばしば感嘆の声があがっていました。

また家具製作 N 村さんの大きなタブノキの一枚板を使ったテーブルや、電線ドラムを模したテーブルも「こんなテーブルが置ける家に住みたいなあ」とひととき目を引いていました。

さらにレーザー加工の HIDEOUT さんの作品は、木製品にとどまらずデニムなど布や革にも加工を施される技術とそのオシャレなデザイン性が際立ち、この4人のメンバーによる「とりもく」の今後の活動がますます楽しみに感じられるイベントとなりました。

当初、毎年この時期に開催される「木のまつり」と併せて楽しんでいただくよう計画していたものの、新型コロナウイルスの影響もあり「木のまつり」は中止に…。残念ではありましたが、連日、訪れてくださるお客様から「いろいろなイベントが中止となり沈んでいたが、気持ちが晴れた」「やはり木の温もりを感じられるものは良いですね」「鳥取にこんなに若手の作家さんがいろいろおられるなんて頼もしい！」など嬉しいお言葉をいただきました。



**CATCH**  
 日常に木の彩りを。  
**the**  
**GOOD life**